

平成 31 年度 4 月入学

帯広畜産大学大学院畜産学研究科

獣医学専攻博士課程

学生募集要項

(外国人留学生特別選抜)

試 験 日 程

| | | |
|-----------------------|--|-------------------------|
| 出願資格審査申請期限 (該当者のみ) | 平成30年11月6日 (火) | |
| 出願期間 (検定料払込期間) | 平成30年11月14日 (水) ~平成30年11月27日 (火) (平成30年11月7日 (水) ~平成30年11月27日 (火)) | |
| 試験実施日 | 小論文 | 出願時に大学から提示された課題について提出する |
| | 英語 | 出願時に外部試験成績を提出する※ |
| | スカイプによる面接 | 平成30年12月4日 (火) |
| 合格発表日 | 平成30年12月11日 (火) | |
| 入学手続期間 | 平成31年3月6日 (水) ~平成31年3月22日 (金) | |

※ 英語外部試験については、平成28年4月1日以降に受験したもので、TOEIC L&R (650点以上) (TOEIC-IPも可)、TOEFL-iBT (67点以上)、IELTS Academic-module (5.5以上) のいずれか一つ。

目 次

| | |
|--------------------------------------|---|
| 1 募 集 人 員 | 1 |
| 2 出願資格・要件..... | 1 |
| 3 出願資格の認定（書類審査） | 2 |
| 4 障がい等のある志願者との事前相談 | 2 |
| 5 特別支援制度について | 2 |
| 6 出 願 手 続 | 3 |
| 7 入学者選抜方法 | 5 |
| 8 試験期日及び試験場 | 5 |
| 9 合 格 発 表 | 5 |
| 10 入 学 手 続 | 5 |
| 11 個人情報 の 取 扱 い に つ い て | 5 |
| ◎ 帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）案内 | 6 |
| ◎ 出願書類の提出・問い合わせ先 | 9 |

1 募集人員

| 専攻・課程 | 募集人員 |
|------------|------|
| 獣医学専攻・博士課程 | 若干人 |

2 出願資格・要件

次の①、②及び③に該当する者

- ① 日本の国籍を有しない者で、外国に在住している者
- ② TOEIC L&R (650 点以上) (TOEIC-IP も可), TOEFL-iBT (67 点以上), IELTS Academic-module (5.5 以上) のいずれか一つを平成 28 年 4 月 1 日以降に受験し、取得している者
- ③ 次の i ~ v のいずれかに該当する者
 - i 大学における修業年限 6 年の獣医学, 医学, 歯学又は薬学を履修する課程を卒業した者又は平成 31 年 3 月までに卒業見込の者
 - ii 外国において, 学校教育における 18 年の課程 (最終の課程が獣医学, 医学, 歯学又は薬学であるものに限る) を修了した者又は平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
 - iii 外国の大学その他の外国の学校 (その教育研究活動等の総合的な状況について, 当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る) において, 修業年限が 5 年以上である課程 (最終の課程が獣医学, 医学, 歯学又は薬学であるものに限る) を修了すること (当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む) により, 学士の学位に相当する学位を授与された者又は平成 31 年 3 月までに授与される見込みの者【注 1】
 - iv 文部科学大臣の指定した者 (昭和 30 年文部省告示第 39 号)
 - ア 旧大学令 (大正 7 年勅令第 388 号) による大学の医学又は歯学の学部において医学及び歯学を履修し, これらの学部を卒業した者
 - イ 防衛省設置法 (昭和 29 年法律第 164 号) による防衛医科大学校を卒業した者
 - ウ 修士課程又は専門職学位課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に 2 年以上在学し, 30 単位以上を修得し, かつ, 必要な研究指導を受けた者で, 本学大学院において, 修業年限 6 年の獣医学, 医学又は歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者【注 2】
 - エ 修業年限 4 年の大学を卒業し, 又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後, 大学, 研究所等において 2 年以上研究に従事した者で, 本学大学院において, 修業年限 6 年の獣医学, 医学又は歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者【注 2】
 - v 本学大学院において, 個別の入学資格審査により, 大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で, 24 歳に達した者【注 2】

【注 1】: 大学 (最終の課程が獣医学, 医学, 歯学又は薬学であるものに限る) 卒業まで 18 年に満たない国の大学卒業 (見込み) 者で, 出願資格 iii に該当しない場合は, 出願資格 v の個別の入学資格審査が必要となります。

【注 2】: 出願資格③ivのウ, ③ivのエ, ③vにより出願する者については, 出願資格の認定が必要ですので, 「3 出願資格の認定 (書類審査)」を参照してください。

3 出願資格の認定（書類審査）（該当者のみ）

上記「2 出願資格・要件」の③ivのウ, ③ivのエ, ③vで出願しようとする者は、出願に先立って出願資格審査を行いますので、下記の提出書類を提出期限までに提出してください。

なお、郵送の場合は必ず書留速達としてください。

| | |
|---------|---|
| 提出書類 | (1) 出願資格認定申請書 ※ (2) 最終学歴の卒業（修了）証明書 (3) 成績証明書（履修状況を証明する書類） (4) 研究歴証明書（研究期間、研究内容は必ず記載） (5) 研究成果資料 |
| 提出期限 | 平成30年11月6日（火） |
| 提出・問合せ先 | 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係 |

※ 出願資格認定申請書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <http://www.obihiro.ac.jp/~nyushi/index.html>

上記ウェブサイト内の「大学院入試」をご覧ください。

4 障がい等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等のある者については、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、下記の期限までに事前相談を行ってください（日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に相談してください）。

| | |
|---------|---|
| 提出書類 | (1) 事前相談書 ※ (2) 医師の診断書 (3) その他障がいの状況がわかる書類（障害者手帳の写し等） |
| 提出期限 | 平成30年11月27日（火） |
| 提出・問合せ先 | 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係 |

※ 事前相談書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <http://www.obihiro.ac.jp/~nyushi/index.html>

上記ウェブサイト内の「障がいのある志願者との事前相談」をご覧ください。

5 特別支援制度について

外国人留学生特別選抜により入学した者は、入学料及び授業料が免除になります。ただし、授業料免除は4年間で限度とし、1年後の成績等の総合評価によっては免除を取り消す場合があります。

※ 政府等がこれらの費用を負担する制度の採択者は除きます。

6 出願手続

(1) 出願書類等

| 出願書類等 | | 摘 要 |
|-------|--|---|
| 1 | 入学志願票 受験票 写真票 | *印欄以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真(縦4cm横3cm)は、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもので、裏面に志望専攻名・氏名を記入の上、写真票の所定の欄に貼ってください(受験時に眼鏡を使用する者は、必ず眼鏡を着用して撮影したものにしてください)。 |
| 2 | 検定料支払時の外国送金依頼書のコピー | 検定料(30,000円)を金融機関で払い込み、外国送金依頼書のコピーを提出してください。払い込み方法は4ページの(2)を参照してください。 |
| 3 | 研究計画書 | 大学院において行おうとする研究内容を記載してください。作成要領は4ページの(3)を参照してください。 |
| 4 | 修業年限6年の学部・学科の卒業(見込)証明書又は修士課程修了(見込)証明書 | 原本を提出してください。 |
| 5 | 成績証明書 | 原本で厳封したものを提出してください(出身大学及び出身大学院)。 |
| 6 | 推薦書 | 出身大学の長等の推薦書(任意様式、英語)で、人物、成績、課外活動、英語力等について記載されたものを提出してください。 |
| 7 | あて名票 (合格通知書送付用) | 本学所定の用紙に郵便番号・住所・氏名を明記したものを提出してください。 |
| 8 | 受験票送付用封筒 | 本学所定の封筒(小)に郵便番号・住所・氏名を明記したものを提出してください。 |
| 9 | 小論文 | 大学から送付するテーマに基づき、小論文をA4版用紙2枚(任意様式)に英語で作成してください。 |
| 10 | TOEIC公式スコアレポート, TOEIC公式認定証, IELTS成績証明書 | 以下のうち、いずれか一つの原本を提出してください。平成28年4月1日以降に受験したものに限り、 <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC L&R公式認定証(650点以上)(TOEIC-IPも可) ・TOEFL iBTスコアレポート(67点以上) ・IELTS Academic-moduleの成績証明書(5.5以上) |

(2) **検定料 (30,000 円) の払い込み方法 (日本国外からの送金方法)**

金融機関で検定料：額面 30,000 円 (日本円) を次の要領に従って海外の金融機関より送金してください。

- ・ 電信送金
- ・ 振込方法 : 通知払
- ・ 支払銀行手数料 : 依頼人負担
- ・ 送金金額 : 30,000 円
- ・ 次の銀行口座に送金してください。

Receiving bank:

SHINKIN CENTRAL BANK
INTERNATIONAL OPERATIONS CENTER
SWIFT CODE: ZENBJPJT

Receiving bank's address:

9-1 HONMURA-CHO, ICHIGAYA, SHINJUKU-KU, TOKYO JAPAN

Beneficiary's Account No:

0340900 with OBIHIRO SHINKIN BANK INADA BRANCH

Beneficiary's name:

OBIHIRO CHIKUSAN DAIGAKU

Beneficiary's Address:

11, NISHI 2, INADACHO, OBIHIRO, HOKKAIDO, 080-8555, JAPAN

- ・ **送金依頼書の連絡事項欄に必ず「PAY IN FULL」と記入してください。**

検定料払込期間 : 平成 30 年 11 月 7 日 (水) ~ 平成 30 年 11 月 27 日 (火)

※ 支払銀行手数料を含む全ての手数料は依頼人が負担してください。

注 1 : 受理した検定料は返還できません。ただし、次の場合に限り、申出により検定料相当額を返還します。

ア) 出願しなかった場合

イ) 出願書類が受理されなかった場合

ウ) 二重に払い込んだ場合

※ 返還に関する問い合わせ先 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係 Tel 0155-49-5321

注 2 : 検定料が払い込まれていない場合は出願を受理できません。

(3) **研究計画書の作成要領**

大学院で実施する研究について、主指導を希望する教員と必ず連絡を取って相談の上、作成してください。

英語で A4 版用紙で 2 枚程度で作成してください。

研究計画書には以下の 3 つの内容を明確に記すこと。

1. 研究の背景と目的 (詳細に記すこと)
2. 研究の方法概略 (技法等の詳細な記述は必要なく、研究全体の流れを簡潔に記すこと)
3. 予想される研究結果 (詳細な記述は必要なく、研究目的に沿って簡潔に記すこと)

研究計画書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <http://www.obihiro.ac.jp/~nyushi/index.html>

上記ウェブサイト内の「大学院入試」のページをご覧ください。

(4) **出願方法及び出願期間**

必ず「EMS」若しくは「書留」のエアメール便扱いにしてください。

なお、出願期限後に到着した出願書類等は受理しないので、郵便事情等を考慮して余裕を持って発送してください。

出 願 期 間 : 平成 30 年 11 月 14 日 (水) ~ 平成 30 年 11 月 27 日 (火) (最終日 17 時必着)

- (5) 出願書類等の提出先
 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係
 〒 080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
 なお、出願書類等は、返還することができません。

7 入学者選抜方法

面接(インターネットを利用。研究計画書, 推薦書, 成績証明書の内容を考慮します), 小論文及び英語(TOEFL, TOEIC 又は IELTS) を総合して行います。

| 科目名 | 配点 | 内容等 |
|-----|------|---|
| 小論文 | 100点 | 本学から提示されたテーマに基づき英語で作成し, 出願時に提出するものとします。 |
| 英語 | 100点 | TOEIC L&R(TOEIC-IPを含む)650点以上, TOEFL iBT 67点以上, IELTS 5.5以上のスコア票又は公式認定証(平成28年4月1日以降に受験したものに限る。)を提出するものとし, 得点は本学の定める基準により80~100点で換算します。 |
| 面接 | 100点 | スカイプにより, 複数の面接官による個人面接を実施します(実施言語は英語)。 |

8 試験期日及び試験場

| 実施期日 | 科目等 | 時間 |
|---------------|-----|-----------|
| 平成30年12月4日(火) | 面接 | 出願後に調整します |

9 合格発表

(1) 発表日時 平成30年12月11日(火) 10:00

- 本学総合研究棟I号館玄関及びホームページに合格者の受験番号を発表します。(ホームページアドレスは9ページ参照)
- (2) 合格者には, 合格通知書及び入学手続きに必要な書類を送付します。
- (3) 電話等による可否に関する問い合わせには, 応じられません。

10 入学手続

- (1) 入学手続期間 平成31年3月6日(水)~3月22日(金) (最終日17時必着)
- (2) 学生教育研究災害傷害保険料等(正課・課外活動中における不慮の災害事故による学生の傷害に対する救済措置) 4,730円

11 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は, 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに, 「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき, 保護に万全を期しています。
- (2) 出願時にお知らせいただいた氏名, 住所等の個人情報については, 入学者選抜, 合格発表, 入学手続, 入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は, 入学者選抜及び入学者選抜方法等における調査・研究を行うために利用します。
- (4) 上記(2)及び(3)の個人情報のうち, 合格者のみ, 入学後の教務関係(修学指導等), 学生支援関係(奨学金申請・授業料免除申請等)に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用します。なお, 合格者には入学手続時に改めてお知らせします。

帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）案内

1 大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程） 教育ポリシー（方針）

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）では、「獣医・農畜産学融合」「海外の大学との協力」による教育体制により、食と農のグローバル化を背景にした専門的知識及び創造性と優れた研究開発能力・教育能力を備えた豊かな人間力を持つ研究者・教育者を養成するため、以下のような人を学生として求めています。

1. 獣医学や農畜産学に関する国際的な視野を持って、高いコミュニケーション能力を身につけて国際水準の先端的な研究を展開できる教育者・研究者を目指す人
2. 獣医・農畜産学融合分野において自らの研究成果を社会に還元し、動物や人の健康、地球環境や生態系の保全、産業や生命科学の発展に中心的な役割を担い国内外を問わず社会貢献することに意欲のある人
3. 獣医学専攻の特定分野に関する総合的な知識や先端的な研究を探究したい人
4. 獣医学やその関連分野に関する学士課程までの基礎知識と基礎的技術及び応用能力を身に付けている人、または他分野に関する修士課程までの基礎知識と基礎的技術及び応用能力を身に付けている人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）では、教育課程で定められた授業科目を履修して所定の修了要件単位を修得し、臨床獣医学、基礎獣医学、公衆衛生学等の獣医学分野及びその学際分野における最新の知識と技術を駆使した先端研究を担うため、以下の能力を身につけた人に学位を授与します。

1. 倫理観
 - ・基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学の獣医学分野における最新の知識と技術と伴侶動物、産業動物及び野生動物を対象として高度な最先端医療技術や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観を身につけている人
2. 国際通用力・リーダーシップ
 - ・生体内部のミクロレベル、個体及び個体群を対象としたマクロレベル、さらに家畜生産を含めた広範囲な生命科学的な研究領域において国際水準の先端的な研究ができる能力を身につけている人
 - ・生体内部、個体及び個体群を対象とした生態学的な研究領域において国際水準の先端的な研究ができる能力を身につけている人
 - ・動物医科学に関する幅広い専門分野の知識を身につけ、国際水準の先端的な研究ができる能力を身につけている人
 - ・食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医科学の優れた分析技術や家畜管理技術を活かし、食の安全や動物とヒトの健康の向上に貢献できる能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力
 - ・基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学等の獣医学分野における専門性について、思考・判断の過程を説明するために国際通用性のあるプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術
 - ・食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医科学の優れた分析技術や家畜管理技術を活かし、食の安全や動物とヒトの健康の向上に貢献でき、獣医学分野、農畜産学分野及びその学際的分野に関する国際的な視野を持って、獣医学のグローバル化に伴う多様な社会ニーズに対応できる実践力とリーダーシップを発揮し、国際水準の先端的な研究能力を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）ディプロマポリシーに掲げた知識・技能等を修得させるために、以下の点に配慮して教育を行います。

1. 研究者としての高度な倫理観の養成
 - eラーニングやアクティブラーニングを用いた、高度な倫理観を養成する科目を配置します。

2. リーダーシップの養成

- ・社会ニーズに対応できる実践力とリーダーシップを有する教育者・研究者を育成するために、高度な知識と技術を習得し、全体を統括できる能力を習得させる科目を配置します。
- ・優れた教育者・研究者になるために教育・研究スキルを実践的に修得できる科目を配置します。

3. 国際通用力の養成

- ・海外での活動を見据え、英語によるプレゼンテーション能力や、ディベート能力及び論文作成能力を高める科目を配置します。
- ・最先端の研究能力を修得するため、海外の大学との協力体制による研究インターンシップやフィールドワーク等の国際通用力を養成する科目を配置します。

4. 博士人材としての総合研究力の養成

獣医・農畜産融合の視点から、幅広く専門性の高い知識を分野横断的に修得するために共通科目を配置するとともに他専攻科目を選択科目として配置します。さらに地球規模課題の解決を目的として、国際水準の先端的な研究能力を修得するための科目を配置します。

- 5. 国際的に活躍・貢献できる研究者の育成を目指し、獣医科学及び関連分野の先端的な専門知識と高度な専門技術を習得させるため、教育の中心となる「専攻コア科目」を必須科目として配置し、高度な専門的知識を修得する科目を用意します。
- 6. 食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医科学の優れた分析技術や家畜管理技術を活かし、食の安全や動物とヒトの健康に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。

2 課程の修了及び学位の授与

本学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）に4年以上在学して所定の単位（30単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び論文関連科目の最終試験に合格した者を課程の修了者とし、「博士（獣医学）」の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、研究科に3年以上在学すれば足りるものとします。

3 大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）担当教員一覧

| 氏名 | 職名 | 教育研究 指導分野 | 専門科目名 | 内容 |
|--------|-----|--------------|---------|--|
| 五十嵐 慎 | 教授 | 耐病性遺伝子工学 | 獣医寄生虫学 | 原虫の宿主細胞内寄生機構に関する研究 |
| 石井利明 | 教授 | 神経薬理学 | 獣医薬理学 | 脳神経系における生理機能の発現や病態形成における分子機構の解明 |
| 猪熊 壽 | 教授 | 獣医内科学 | 獣医内科学 | 大動物内科疾患の診断、および予防法に関する研究 |
| 小川 晴子 | 教授 | 獣医伝染病学 | 獣医伝染病学 | 動物ウイルス病についての研究 |
| 河津 信一郎 | 教授 | 原虫病予防治療学 | 獣医寄生虫学 | 原虫ゲノム・タンパク質機能情報に基づいた新たなワクチン・治療法の開発 |
| 川本 恵子 | 教授 | 獣医感染症学 | 獣医微生物学 | 1) 水性・陸生動物由来感染症の発症機序、病態、疫学及び診断法に関する研究 2) アレルギー疾患 |
| 倉園 久生 | 教授 | 蛋白毒素科学 | 獣医微生物学 | 細菌感染症における蛋白毒素の役割 |
| 玄 学南 | 教授 | 生体防御学 | 獣医寄生虫病学 | 原虫感染に対する宿主防御免疫の解析と組換えワクチンの開発 |
| 古林 与志安 | 教授 | 診断病理学 | 獣医病理学 | 動物疾患の病理発生機序解明と診断法の確立 |
| 佐々木 基樹 | 教授 | 獣医解剖学 | 獣医解剖学 | 脊椎動物の機能形態学 |
| 鈴木 宏志 | 教授 | ゲノム機能学 | 実験動物学 | 発生工学による遺伝子の機能解析及び発生・生殖工学的技術開発 |
| 西川 義文 | 教授 | 感染免疫学 | 獣医寄生虫病学 | 病原性原虫感染症の発症機序に関する研究 |
| 古岡 秀文 | 教授 | 病態病理学 | 獣医病理学 | 神経筋疾患の病理、感染症の病理(動物プリオン病, Lawsonia 感染症等) |
| 松井 基純 | 教授 | 繁殖障害診断治療学 | 獣医臨床繁殖学 | ウシの卵巣および子宮機能異常による繁殖障害の病態生理の解明 |
| 山岸 則夫 | 教授 | 牛病学 | 獣医臨床病理学 | 牛疾患の病態と診断・治療法 |
| 横山 直明 | 教授 | 原虫病高度診断学 | 獣医寄生虫病学 | 家畜原虫病の疫学調査及びその制御法の確立 |
| 加藤 健太郎 | 准教授 | 地球規模感染症学 | 獣医微生物学 | 原虫の宿主細胞感染の分子機構の解明と新たな抗原虫戦略の確立 |
| 久保田 彰 | 准教授 | 環境毒性学 | 毒性学 | 人工化学物質の生体影響と作用機序に関する研究 |
| 廣井 豊子 | 准教授 | 病原細菌学 | 獣医公衆衛生学 | 病原細菌（食品有害細菌, 人獣共通感染症起因細菌）に関する細胞分子生物学的研究（病原性発現機序や診断・検出法の開発） |
| 福本 晋也 | 准教授 | バクテリア生物学 | 獣医寄生虫学 | バクテリアにおける病原体感染成立機構 |
| 松本 高太郎 | 准教授 | 獣医内科学 | 獣医内科学 | 大動物の感染症の診断および治療に関する研究 |
| 室井 喜景 | 准教授 | 神経薬理学 | 薬理学 | 動物の本能行動を司る神経機構の解明 |

出願書類の提出・問い合わせ先

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係

Tel. 0155-49-5321 (入学試験係直通) (月～金 8:30～17:15)

E-mail nyushi@obihiro.ac.jp

帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各専攻の紹介、大学の概要等が載っています。
アドレスは、次のとおりです。 <http://www.obihiro.ac.jp>

APPLICATION FOR ADMISSION TO THE DOCTORAL PROGRAM
OF VETERINARY SCIENCE

GRADUATE SCHOOL
OF ANIMAL AND VETERINARY SCIENCES AND AGRICULTURE
OBIHIRO UNIVERSITY
OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE

Starting in April, 2019

Special Selection for International Students

Entrance Examination Schedule

| | | |
|--|---|--|
| Deadline for authorization for qualified applicants (If applicable) | Tuesday, November 6, 2018 | |
| Application period (Payment period of examination fee) | From Wednesday, November 14, 2018 to Tuesday, November 27, 2018 (From Wednesday, November 7, 2018 to Tuesday, November 27, 2018) | |
| Examination | Short essay | Write on the theme provided by the University and submit it when you apply. |
| | *English | Submit the original certificate of the exam (TOEIC L&R, TOEFL-iBT, or IELTS) when you apply. |
| | Interview on skype | Tuesday, December 4, 2018 |
| Date of notification of admissions | Tuesday, December 11, 2018 | |
| Enrollment period | From Wednesday, March 6, 2019 to Friday, March 22, 2019 | |

*The test score must be taken after April 1, 2016..

TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher

TOEFL iBT: 67 or higher

IELTS Academic-Module: 5.5 or higher

Contents

| | | |
|----|--|----|
| 1 | Number of Students to be Admitted | 1 |
| 2 | Application Criteria | 1 |
| 3 | Authorization for Qualified Applicants | 2 |
| 4 | Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities | 2 |
| 5 | Scholarship | 2 |
| 6 | Application Procedure | 3 |
| 7 | Method of Selection | 5 |
| 8 | Time, Date and Location of Examination | 5 |
| 9 | Notification of Admission | 5 |
| 10 | Enrollment Procedures | 6 |
| 11 | Privacy Statement | 6 |
| | ©Description of the Master's Program | 7 |
| | ©Application and enquiries | 10 |

1. Number of Students to be Admitted

| Program | Number of students to be admitted |
|--|--|
| | Special Selection for International Students |
| Doctoral Program of Veterinary Science | Limited |

2. Application Criteria

To apply for the Special Selection for International Students, one must meet the criteria ①, ② and ③

- ① Those who don't hold Japanese nationality and reside abroad.
- ② Those who took any of the following exams, TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher, TOEFL iBT: 67 or higher, and IELTS Academic-Module: 5.5 or higher, after April 1, 2016.
- ③ A person who meets one of the items i~v below.
 - i. Those who have completed a six-year program in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine, or are expected to do so on or before March 31, 2019.
 - ii. Those who have completed outside Japan an 18-year school education (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine), or are expected to do so on or before March 31, 2019.
 - iii. Those who have been conferred, or expect to be conferred by March 31, 2019, a degree equivalent to a bachelor's degree through attending an overseas university or other overseas school (limited to those whose education and research activities have been evaluated by persons who have been certified by the relevant country's government or a related institution, or have been separately designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology as being equivalent to such) and completing a program that requires 5 years or longer to complete (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine) (including completing a program implemented by the relevant overseas school while living in Japan through distance learning, as well as completing a program implemented by an educational facility established with the relevant overseas country's school education system and have received the designation mentioned above). [Note 1]
 - vi. Those who are deemed eligible by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Bulletin No. 39, Ministry of Education, 1955):
 - a. Who studied medicine or dentistry at a department of medicine or dentistry of a university set up by the former University Order (Imperial Ordinance No. 164, 1918).
 - b. Who graduated from the National Defense Medical College set up by the Act for Establishment of the Ministry of Defense (Act No. 164, 1954).
 - c. Who have completed a master's or professional degree program, who are eligible for a master's degree, or who have been enrolled in a doctoral program for two years or longer, acquired 30 credits or more, received necessary research instruction, and who have been recognized by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having academic abilities equivalent to those of persons who completed 6-year program in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine. [Note 2]
 - d. Who have been engaged in research at a university or research institute after graduating from a four-year college or completed a 16-year overseas school education, and have been recognized by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having academic abilities equivalent to those of persons who have completed a 6-year program in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine. [Note 2]
 - v. Those who are 24 years old or older, and recognized in the preliminary selection by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having equal to or higher academic ability than a university graduate. [Note 2]

Note 1 : Applicants who graduated or are expected to graduate a university in a country in which it takes less than 18 years to complete formal education to the university level (the last program must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine) and who don't satisfy criteria iii above need to choose the preliminary selection specified in v.

Note 2 : Applicants who satisfy criteria ③-vi-c, ③-vi-d or ③-v need to refer to “3. Authorization for Qualified Applicants” on page 2.

3. Authorization for Qualified Applicants (if applicable)

Those who will apply under the application criteria ③-vi-c, ③-vi-d or ③-v have to be authorized as qualified applicants. Submit the documents in the table below by the deadline. If you send the documents by mail, use registered express mail.

| | |
|---------------------|---|
| Documents to submit | (1) Application form for qualified applicant authorization* (2) Graduation/completion certificate from the last school you attended (3) Academic transcript (4) Research certificate (including period of time and contents of your research) (5) Materials from research results |
| Deadline | Tuesday, November 6, 2018 |
| Submit to: | Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan |

*The application form for the authorization for qualified applicants is available on our website at <http://www.obihiro.ac.jp/~gakumu/english/admission/application/index.html>

4. Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities

Applicants with physical disabilities are advised to consult with the Entrance Examination Office by the deadline below, as special consideration may be necessary for taking the examination or studying. Those who use a hearing aid, crutches, or a wheelchair are also advised to consult the Entrance Examination Office, as special arrangements at the examination sites and other locations may be necessary.

| | |
|---------------------|--|
| Documents to submit | (1) Application for Consultation * (2) Medical Certificate (3) Other documents that show the conditions of disabilities (e.g., a copy of the disability certificate) |
| Deadline | Tuesday, November 27, 2018 |
| Submit to: | Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan |

*The application form for consultation is available on our website at <http://www.obihiro.ac.jp/~gakumu/english/admission/application/index.html>

5. Exemption from the entrance and tuition fees

Successful applicants of Special Selection for International Students are exempt from the entrance and tuition fees unless a government or other organization is paying their fees. The maximum period of exemption is for four years. The exemption may be cancelled depending on the student's overall evaluation including course grades in the first year.

6. Application Procedure

(1) Application documents

| Application documents | | Summary |
|-----------------------|---|--|
| 1 | Application form, exam admission card, and photograph card | Fill out the prescribed form except columns marked with. * The photo (4 cm high x 3 cm wide) must have been taken within 3 months prior to application. The portrait must be a full face, front view, without a hat, and wearing glasses if you expect to do so at the exam. Write your full name and the Program you are applying for on the back of the photo and glue it to the designated spot. |
| 2 | A photocopy of the Telegraphic Transfer Application Form | The amount of 30,000 yen for the examination fee must be transferred from a financial institution. A photocopy of the Telegraphic Transfer Application Form must be submitted with the application documents. See (2) Examination fee on Page 4. |
| 3 | Research proposal | Describe the research you intend to do in the Doctoral Program. See (3) Guideline of research proposal on Page 4. |
| 4 | Certificate of completion, or certificate of expected completion, of 6-year undergraduate program or master's program | Must be original. |
| 5 | Academic transcript | Records of undergraduate and graduate school, which should be original and sealed |
| 6 | Letter of recommendation | Should be described applicant's personality, grades, extracurricular activities, English proficiency, etc. by dean or person of equivalent status in college you attended. |
| 7 | Name and address card (for sending notification of admission) | Fill out your name, address and postal code on the prescribed form. |
| 8 | Self-addressed envelope for sending the exam admission card | Fill out your name, address and postal code on the prescribed small envelope. |
| 9 | Short essay | Write a short essay on the theme provided by the University on A4-sized paper, 2 pages maximum in English. |
| 10 | TOEFL Examinee Score Reports or TOEIC Official Score Certificate or IELTS Test Report Form | Submit the original certificate of one of the following exams. The test score must be taken after April 1, 2016. TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher TOEFL iBT: 67 or higher IELTS Academic-Module: 5.5 or higher |

(2) **Examination fee (Remittance from abroad)**

The amount of 30,000 yen for the examination fee must be transferred from a financial institution following the instructions below.

- Telegraphic transfer
- Advise and pay
- Applicant pays the transaction charge
- Amount: ¥30,000(yen)
- Transfer to:

Receiving bank:

SHINKIN CENTRAL BANK
INTERNATIONAL OPERATIONS CENTER
SWIFT CODE: ZENBJPJT

Receiving bank's address:

9-1 HONMURA-CHO, ICHIGAYA, SHINJUKU-KU, TOKYO JAPAN

Beneficiary's Account No:

0340900 with OBIHIRO SHINKIN BANK INADA BRANCH

Beneficiary's name:

OBIHIRO CHIKUSAN DAIGAKU

Beneficiary's Address:

11, NISHI 2, INADACHO, OBIHIRO, HOKKAIDO, 080-8555, JAPAN

- Put **“PAY IN FULL”** in the **“Message to payee”** space in the remittance application form.

Payment Period: From Wednesday, November 7 to Tuesday, November 27, 2018.

***All handling fees including transaction charges are to be paid by the applicant.**

Note1: The examination fee is not refundable for any reason except the following:

- The applicant has failed to submit his or her application form by the prescribed date, or his or her application form has been rejected by the University.
- The applicant has paid the examination fee twice.

A request for a refund should be made promptly.

*For further information about the refund, contact:

Entrance Examination Office

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

Note2: An application will be rejected if the examination fee is not paid.

(3) Guideline of research proposal

You must consult your prospective supervisor before making the research proposal. The proposal must include the following three points in English, on A4 sheets, 2 pages maximum:

1. Background and purposes of the research (in detail)
2. Outline of research method (You do not need to describe research techniques in detail. Just briefly explain the outline of the whole research procedure.)
3. Expected research results (Detailed description is not necessary. Briefly describe expected results in context of the research purposes.)

*The form for the research proposal is available on our website at

<http://www.obihiro.ac.jp/~gakumu/english/admission/application/index.html>

(4) Application method and application period

Enclose all the application documents in the envelope and send it by mail.

The documents must be sent by EMS or registered special delivery mail. **The documents have to arrive by 17:00 on the last day of the application period.** Documents arriving later than this will not be accepted, so be sure to send them early enough to avoid postal delays.

Application Period : From Wednesday, November 14, 2018 to Tuesday, November 27, 2018

(5) Submit the application documents to:

Entrance Examination Office, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

Note: The application documents will not be returned.

7. Method of Selection

Results from a short essay, English and interview (about the research proposal and the academic transcript) will be examined.

| Description | Allotment of marks | Summary |
|--------------------|--------------------|--|
| Short essay | 100 | Submit a short essay on the theme provided by the University on A4-sized paper, 2 pages maximum in English. |
| English | 100 | Submit the original certificate of one of the following exams. 80-100 points are given according to our graduate school regulation. The test score must be taken after April 1, 2016. TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher TOEFL iBT: 67 or higher IELTS Academic-Module: 5.5 or higher |
| Interview on skype | 100 | Personal interview in English by multiple interviewers from the Specialty |

8. Time and Date of Examination

| Date | Description | Time |
|---------------------------|--------------------|----------------------------------|
| Tuesday, December 4, 2018 | Interview on skype | To be arranged after application |

9. Notification of Admission

(1) Schedule : 10:00 a.m., Tuesday, December 11, 2018

The code numbers of accepted students are displayed at the entrance of the General Research Building I and on the website (<http://www.obihiro.ac.jp/english/index.html>).

(2) The notification of admission and the documents necessary for enrollment procedures are sent to the admitted students.

(3) Telephone enquiries regarding admission are not accepted.

10. Enrollment Procedures

- (1) Enrollment period : **From Wednesday, March 6, 2019 to Friday, March 22, 2019**
***The documents have to arrive by 17:00 on the last day.**
- (2) Fee for disaster/accident insurance for students in education/research: 4,730 yen
(Insurance for accidental injury in University activities)

11. Privacy Statement

- (1) Any personal information we acquire is strictly protected under the "Law on Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies" and the "National University Corporation Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Management Regulations of Personal Information."
- (2) Personal information such as your name and address that is sent during the application process is used for selection, notification of admission, enrollment procedures, survey and research on selection methods and additional procedures.
- (3) Personal information such as the examination results acquired in the process of selection is used for survey and research on selection and selection methods.
- (4) For successful applicants only, personal information mentioned above in (2) and (3) is also used for the purposes of school affairs (e.g., study guidance) and student support (e.g., scholarship application and tuition exemption application) after entering Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

Description of the Doctoral Program
Veterinary Science
Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

1. Education Policy of the Doctoral Program of Veterinary Medicine

Admission Policy

The Doctoral Program of Veterinary Science at the Graduate School of Animal and Veterinary Science and Agriculture, utilizing its educational systems which involve “fusion of veterinary medicine, animal science and agriculture” and “cooperation with overseas universities” aims to train educators and researchers who, while keeping globalization of food and agriculture in mind, have technical knowledge, creativity, and excellent research and development skills, and excellent educational abilities as well as great personality. For that purpose, we want students:

1. Who aim to be educators and researchers who can conduct international-standard, advanced research with global views on veterinary medicine, animal science and agriculture, and have good communication skills,
2. Who are eager to contribute to society domestically and globally by giving back to society their research results in the field where veterinary medicine, animal science and agriculture are fused, and by playing a central role in maintaining animal and human health, conserving the global environment and ecosystem, and developing industries and life science,
3. Who want to pursue comprehensive knowledge and advanced research on a specific area of the veterinary medicine program, and
4. Who have acquired basic knowledge and skills, and application skills, up to the bachelor’s level in veterinary science and related fields, and basic knowledge and skills, and application skills, up to the master’s level in other fields.

Diploma Policy

In the Doctoral Program of Veterinary Science, the degree shall be conferred on persons who have taken the courses set up in the curriculum and obtained the required credits to complete the program, and have acquired the following skills that enable them to shoulder advanced research using their up-to-date knowledge and skills in the fields of veterinary medicine such as basic veterinary medicine, clinical veterinary medicine and public health, and interdisciplinary fields of the above:

1. Ethics
 - Ethics based on up-to-date knowledge and skills in the fields of veterinary medicine such as basic veterinary medicine, pathological veterinary medicine, applied veterinary medicine and clinical veterinary medicine, and based on deep understanding of highly advanced medical techniques and of social activities for companion, industrial and wild animals,
2. International competence and leadership
 - Abilities to conduct international-standard, advanced research in a wide range of fields of life-scientific research including the intravital micro-level, the macro-level dealing with individuals and populations, and animal production.
 - Abilities to conduct international-standard, advanced research in the field of ecological research dealing with the inside of organisms, individuals and populations.
 - A wide range of technical knowledge on veterinary life science, and abilities to conduct international-standard, advanced research.
 - Abilities to contribute to the improvement of food safety and human and animal health utilizing highly advanced knowledge on food safety management systems and domestic and overseas safety monitoring of agricultural and livestock products, and excellent analysis and livestock management techniques in veterinary medicine and veterinary life science.
3. Communication skills:
 - Internationally competent presentation skills and communication skills necessary to explain their process of thinking and making judgments with regard to their specialty in the fields of basic veterinary medicine, pathological veterinary medicine, applied veterinary medicine and clinical veterinary medicine.
4. Technical knowledge and skills:
 - Abilities to utilize highly advanced knowledge on food safety management systems and domestic and overseas

safety monitoring of agricultural and livestock products, and to utilize excellent analysis and livestock management techniques in veterinary medicine and veterinary life science; abilities to contribute to the improvement of food safety and human and animal health; global views with regard to the fields of veterinary medicine, animal science, agriculture, and their interdisciplinary fields; practical skills and leadership to meet various social needs according to the globalization of veterinary medicine, and; international-standard, advanced research skills.

Curriculum Policy

In order to have the students acquire the knowledge and skills specified in the diploma policy, we conduct education paying attention to the following points:

1. Developing high-level of ethics as a researcher:
 - We offer courses to develop high-level of ethics using e-learning and active learning.
2. Developing leadership:
 - We offer courses for students to acquire advanced knowledge and skills, and an ability to manage the whole in order to develop educators and researchers with practical skills and leadership, which enable them to satisfy social needs.
3. Developing international competence:
 - We offer courses that enhance skills for presentation, debate and academic writing for students to play an active role globally in the future.
 - We offer courses to develop international competence such as research internships and fieldwork in cooperation with overseas universities for students to acquire advanced research skills.
4. Developing comprehensive research abilities as a doctor:
 - We offer common courses as well as selective courses from other degree programs for students to acquire a wide range of highly technical knowledge interdisciplinarily from the viewpoint of fusing veterinary medicine, animal science and agricultural studies.
 - We offer courses for students to acquire international-standard, advanced research skills that aim to resolve global issues.
5. We offer “special core course” as required courses, which aim to have students acquire highly advanced technical knowledge and skills on veterinary medicine and related fields in order to develop researchers who can play an active role and make contributions globally.
6. We offer courses for students to acquire the globally most advanced knowledge and skills on food safety, and animal and human health, involving highly advanced knowledge on food safety management systems and domestic and overseas safety monitoring of agricultural and livestock products, and excellent analysis and livestock management techniques in veterinary medicine and veterinary life science.

2. Completion of programs and awarding degrees

Students are awarded the Doctoral Degree in Veterinary Science after they completed the program, i.e., those who have been enrolled in the Doctoral Program of Veterinary Science at the Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture of our university for four years or longer, and have earned the required 30 credits, who have received the necessary research instruction, and passed the examination of their doctoral thesis in addition to the final examinations of the courses relevant to the thesis.

However, for those who achieved excellent results, the period enrolled in the graduate school could be shortened to three years.

3. Supervisors

| Name | Position | Field of Research | Specialized course | Contents |
|---------------------|-----------|--|-------------------------------|--|
| Makoto Igarashi | Professor | Diseases control | Veterinary Parasitology | Parasitism of protozoan parasites |
| Toshiaki Ishii | Professor | Neuropharmacology | Veterinary Pharmacology | Molecular basis of physiological and pathological manifestations in the central nervous system |
| Hisashi Inokuma | Professor | Large Animal Internal Medicine | Veterinary Internal Medicine | Diagnosis and treatment of large animal internal medicine |
| Haruko Ogawa | Professor | Veterinary Epizootiology | Veterinary Epizootiology | Study on animal viral diseases |
| Shinichiro Kawazu | Professor | Preventive Medicine for Protozoan Diseases | Veterinary Parasitology | Development of novel vaccines and therapeutic approaches based on functional analysis of the protozoan genome and proteins |
| Keiko Kawamoto | Professor | Immunology of Infectious Disease | Microbiology | 1) Molecular and epidemiological research on infectious diseases of terrestrial and aquatic animals 2) Allergy and Immunology |
| Hisao Kurazono | Professor | Protein Toxicology | Veterinary Microbiology | The role of protein toxins in bacterial infection |
| XUAN Xuenan | Professor | Host Defense | Veterinary Parasitology | Studies on analysis of host defense immunity and development of recombinant vaccines against protozoan parasite infections |
| Yoshiyasu Kobayashi | Professor | Diagnostic Pathology | Veterinary Pathology | Pathogenesis and diagnosis of animal diseases |
| Motoki Sasaki | Professor | Veterinary Anatomy | Veterinary Anatomy | Functional morphology in vertebrates |
| Hiroshi Suzuki | Professor | Functional Genomics | Laboratory Animal Science | Analysis of gene function <i>in vivo</i> by transgenic technology and development of reproductive bio-technology |
| Yoshifumi Nishikawa | Professor | Infection immunity | Veterinary Parasitology | Study on onset mechanism of pathogenic protozoan diseases |
| Hidefumi Furuoka | Professor | Pathobiological Science | Veterinary Pathology | The pathology of neuromuscular disorders and the pathology of infectious diseases (e.g., animal prion diseases, <i>Lawsonia</i> infection) |
| Motozumi Matsui | Professor | Diagnosis and Therapeutics for Reproductive Diseases | Theriogenology | Pathophysiology of ovarian and uterine disorder in cow reproduction |
| Norio Yamagishi | Professor | Bovine Medicine | Veterinary Clinical Pathology | Pathophysiology, Diagnosis, and Treatment of Bovine Diseases |
| Naoaki Yokoyama | Professor | Diagnosis for protozoan Diseases | Veterinary Parasitology | Epidemiological survey of protozoan disease in domestic animals and development of its control strategy |

| Name | Position | Field of Research | Specialized course | Contents |
|------------------|---------------------|--------------------------------|------------------------------|---|
| Kentaro Kato | Associate professor | Global Infection Control | Veterinary Microbiology | Study on the molecular mechanism of infection and propagation of parasites and establishment of novel antiprotozoal strategy |
| Akira Kubota | Associate professor | Environmental Toxicology | Toxicology | Study on biological effects and mode of action of anthropogenic chemicals |
| Toyoko Hiroi | Associate professor | Pathogenic Bacteriology | Veterinary Public Health | Molecular mechanisms of bacterial infections and its pathogenicity. Development of diagnosis and detection methods of bacterial infections. |
| Shinya Fukumoto | Associate professor | Vector Biology | Veterinary Parasitology | Infection mechanism of pathogens to the vector invertebrate |
| Kotaro Matsumoto | Associate professor | Large Animal Internal Medicine | Veterinary Internal Medicine | Diagnosis and treatment of infectious diseases of large animals |
| Yoshikage Muroi | Associate professor | Neuropharmacology | Pharmacology | Study on the central nervous system for controlling instinctive behaviors |

Application and enquiries

Entrance Examination Office,
 Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.
 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan
 Tel: (0)155-49-5321 (direct line) (8:30 a.m. – 5:15 p.m., Monday – Friday)
 E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Website

Visit our website for further information on admission, faculties and outline of Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

<<http://www.obihiro.ac.jp>>